

件名	2号機使用済燃料プールにおける燃料集合体内部での金属らしきものの発見について
通報日	平成20年1月14日
概要	<p>当所2号機は定期検査中ですが、使用済燃料プールにおいて新潟県中越沖地震後の燃料点検*1を実施していたところ、1月14日および15日の点検の際に1体の燃料集合体内部(スペーサ*2部)に金属らしきもの5本(最大長さ:約10mm、太さ:約0.2mm)を発見しました。</p> <p>今後、燃料点検を継続するとともに、当該の金属らしきものについて回収等の対応を検討してまいります。</p> <p>なお、今後の点検状況については、とりまとめてお知らせします。</p> <p>本事象は【中越沖地震】に関連する事象ではありません。</p> <p>*1:燃料点検 新潟県中越沖地震時に炉内に装荷されていた燃料集合体について外観点検を行っているが、炉内の装荷位置を考慮しつつ燃焼の進んだ燃料数体を抽出しファイバースコープによりスペーサ内部を目視点検するもの。</p> <p>*2:スペーサ 燃料棒の間隔を一定に保つための部品。</p> <p>(平成20年1月15日 プレス発表内容)</p> <p>http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2007/pdf/20011502p.pdf</p>